

第21回環境地質学シンポジウム

主催：地質汚染—医療地質—社会地質学会 準主催：Japan Branch of IUGS—GEM

共催：日本情報地質学会, 日本鉱物科学会, 日本地質学会環境地質部会

日本第四紀学会, 内閣府認証 (NPO) 日本地質汚染審査機構

期日：2012年1月24日(火)・25日(水)

会場：早稲田大学 早稲田キャンパス 国際会議場第一会議室

(最寄り駅：地下鉄東京メトロ東西線「早稲田」駅, もしくは「高田馬場」駅下車) 地図HP <http://www.waseda.jp/jp/campus/map.pdf>

参加費(論文集込み)：社会地質学会員 5,500円 非会員 7,500円 *非会員で共催・協賛団体会員は非会員費用から一律1,000円引

特別講演：近畿大学 教授 山崎秀夫 氏

「東日本大震災による福島第一原発からの環境放射能汚染とその現況」

24日		25日	
開始時間	演題・演者	開始時間	演題・演者
9:55	開会		
	東日本大震災での地質汚染		古環境変遷および水域の地質環境とその持続的利用
10:00	DPAA 地質汚染浄化対策現場での地波現象による再汚染 檜山知代(大阪大院理)・木村和也・楡井 久	10:00	琵琶湖試料中の生物源シリカ含有率からみた過去約15万年間の気候変動とその要因 根上裕成(早稲田人間科学)・中西俊貴・喜岡 新・岩本直哉・井内美郎
10:15	チバラキ絆 No.1 が測定している放射性 Cs134-Cs137—古関東深海盆地— 木村和也(医療地質研)・楡井 久	10:15	長野県野尻湖における過去約4.5万年の湖水面変動と急激な寒冷化イベントとの対応 中村祐貴(早稲田人間科学)・井内美郎・公文富士夫・井上卓彦・近藤洋一
10:30	宮城県沿岸の津波堆積物に降下した放射性セシウムの測定 趙 成珍(東北大院環境)・小川泰正・畑山正美・須藤孝一・井上千弘	10:30	野尻湖湖水面変動の実態と人間生活への影響 井内美郎(早稲田人間科学)・中村裕貴・公文富士夫・井上卓彦・近藤洋一
10:45	放射性セシウム濃度の現場における分析・評価手法の検討 氏家 亨(国土防災)・山村 充・成沢 昇	10:45	京葉臨海地域のため池底質を用いた大気汚染履歴の解明 吉野友美(早稲田大理工)・谷澤利典・山崎秀夫・香村 一夫
11:00	天然ゼオライトのセシウム吸着現象に関する考察と利用方法についての提言 武島俊達(アステック東京)・森本辰雄・川村真由子・武田 都・村井貞人	11:00-11:15	総合討論
11:15	放射性セシウムに汚染された水田土壌のマツバイによるファイトレメディエーション 榎原正幸(愛媛大院理工)・久保田有紀	11:20-12:20	社会地質学会総会
11:30-11:45	総合討論	12:20-13:20	昼食
11:45-13:00	昼食	13:20-13:50	ポスターコアタイム
13:00-14:00	特別講演 東日本大震災による福島第一原発からの環境放射能汚染とその現況 近畿大学 山崎秀夫 教授		
	東日本大震災での地震に伴う液状化・流動化・地波		地質汚染とその修復および有害地質との対応
14:15	2011年東北地方太平洋沖地震時に第四紀関東堆積盆地の房総半島に発生した液状化—流動化現象— —東京湾岸埋立地の千葉市・浦安市を中心に— 風岡 修(千葉県地質環境研)・香川 淳・吉田 剛・古野邦雄・楠田 隆・酒井 豊・加藤晶子・山本真理	13:55	汚染源が不明な鉛汚染土壌中に共通して存在する鉛粒子 高階義大(洛菱テクニカ) ポスター
14:30	液状化-流動化に伴う地盤沈下—東京湾岸埋立地— 香川 淳(千葉県地質環境研)・風岡 修・古野邦雄・楠田 隆・酒井 豊・吉田 剛・加藤晶子・山本真理	14:00	VOCs 汚染サイト毎の脱塩素化特性の比較 高嶋恒太(野田市環境)・風岡 修・酒井 豊・香川 淳
14:45	浦安市の液状化による沈下量の面的把握 小荒井 衛(国土地理院地理地殻活動研)・中埜貴元・乙井康成・宇根 寛・川本利一・醍醐恵二・向山 栄・香川 淳・古野邦雄・風岡 修	14:15	クロロエチレン類分解微生物コンソーシアムの確立とその微生物特性 吉川美穂(ケミカルグラウト)・竹内美緒・張 銘・駒井 武
15:00	2011年東北地方太平洋沖地震による千葉県東京湾岸の液状化—流動化に伴う地表面の変形 吉田 剛(千葉県地質環境研)・風岡 修・楠田 隆・古野邦雄・香川 淳	14:30	VOCs 汚染浄化対策に関する考察 張 銘(産総研地質資源)・吉川美穂・竹内美緒・駒井 武
15:15	平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震による瓦屋根被害分布—千葉県習志野市谷津付近及び香取市佐原付近の調査から— 酒井 豊(千葉県地質環境研)	14:45	海成堆積物からの砒素、カドミウムの長期溶出挙動 増田俊介(東北大院環境)・小川泰正・須藤孝一・井上千弘
15:30	東日本大震災による液状化・流動化被害調査における衛星画像の利用 —その有効性と限界— 藤崎克博(環境地質コンサルタント)	15:00	安定型最終処分場における浸透水中の砒素の起源調査 岡野英樹(アステック東京)・小村一行・和田信彦
15:45	房総半島で見られた2011年東北地方太平洋沖地震およびその余震による液状化—流動化現象— 利根川下流低地を中心として— 古野邦雄(千葉県地質環境研)・楠田 隆・風岡 修・酒井 豊・香川 淳・吉田 剛・加藤晶子・山本真理	15:15	火山灰土壌の有する汚染浄化能力の検討 —北海道十勝平野を例として— 吉良彰悟(早稲田大理工)・西田洋平・平岩良太・香村 一夫
16:00	関東地方内陸部の浸没埋立宅地における液状化被害 卜部厚志(新潟大学災害復興科学研究)	15:30	重金属汚染された河川水のマツバイによるファイトレメディエーション実験 榎原正幸(愛媛大院理工)・彦田真友子・佐野 栄・世良耕一郎
16:15	2011年東北地方太平洋沖地震による液状化-流動化現象—九十九里平野地域— 楠田 隆(千葉県地質環境研)・古野邦雄・風岡 修・香川 淳・吉田 剛・酒井 豊・加藤晶子・山本真理	15:45	建設残土の倉庫-住宅予定跡地における医療地質学的植生再生の研究—その2— 楡井 久(医療地質研)
16:30	2011年東北地方太平洋沖地震時における液状化—流動化と地波現象の時系列変化の観察例 風岡 修(千葉県地質環境研)・楡井 久・吉田 剛	16:00-16:15	総合討論
16:45	環境地質から見た液状化防止対策 上砂正一(NPO 日本地質汚染審査機構)		地下水盆管理・アーバンジオロジー・地質圏の持続的利用と人間活動
17:00-17:15	総合討論	16:15	下部—中部更新統境界模式候補地と白尾火山灰層の分布状況 木村英人(東邦地水)・風岡 修・楡井 久
	東日本大震災での津波・地殻変動・地質災害	16:20	新潟県の古典型ツツガムシ病 —六日町盆地の有毒地の土地条件に関して— 仲川隆夫(環境地質研究者)
17:15	2011年東北地方太平洋沖地震による仙台平野の津波の侵入過程と津波堆積物 川辺孝幸(山形大地域教育文化)・大沼由佳・佐々木 愛	16:35	釧路湿原東部地域の湧水・地下水の同位体地球化学的特徴 丸谷 薫(北海道総研地質研)
17:30	新潟地震の事例からみた東北地方太平洋沖地震による沈降現象 仲川隆夫(環境地質研究者)	16:50	堆積岩中の岩盤割れ目と割れ目充填物の性状—九州東部に分布する四万十帯古第三系を対象として— 大嶋章浩(西日本技術開発)・吉田英一・西園幸久
17:45	東北地方太平洋沖地震により誘発された地震の被害の特徴 小荒井 衛(国土地理院地理地殻活動研)・中埜貴元・岡谷隆基・小林知勝・乙井康成	17:05	エシカルジュエリーの経緯と今後の枠組について 村尾 智(産総研地質資源)
18:00	温泉湧出量変化、GPS変位および余震活動からみた2011年東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動とそのメカニズム 川辺孝幸(山形大地域教育文化)・中野啓二	17:20	パキスタン・ファンザ地方・アリアバッドにおけるエシカルジュエリー構築の試み :国際的潮流と国内事情の調和 村尾 智(産総研地質資源)・白木夏子・ウスマン=アリ・ラヒール=アドナン・山崎真忠・中島和夫
18:15	環太平洋地震帯における地震発生メカニズムの再考—ひがし東北 Fore-arc Basin の誕生— 楡井 久(日本地質汚染審査機構)	17:25-17:40	総合討論
18:30	巨大地震からの復興は土地と災害の履歴を地質環境史に編むことから始めよう! —田老町の防潮堤を例に— 初倉克幹(基礎地盤コンサルタンツ)・志岐常正	17:45-17:55	講演賞・奨励賞表彰
18:45-19:00	総合討論	18:00	閉会
19:00-19:20	東日本大震災の総合討論		

***企業展示、本学会の書籍展示・注文などを予定しています。書籍は当日参加者に限り定価の半額にて注文いただけます。

詳細情報等はHP：<http://www.jspmug.org/> まで

その他問い合わせ先：〒261-0005 千葉県千葉市美浜区稲毛海岸3-5-1 千葉県環境研究センター 地質環境研究室気付 地質汚染-医療地質-社会地質学会 第21回環境地質学シンポジウム担当(043-243-0261)

*表題・著者名は申し込み時のものです。事前の発表取り消しなどの情報は社会地質学会ホームページにてご確認ください。
**ポスター表記のない発表は口頭発表(持ち時間15分)です。ポスター発表は、その日のポスターコアタイムにポスターの説明と、各セッションの際に5分間スピーチがあります。